

派遣経験を生かした教育活動事例報告

渡部 和江

(15-1, ガーナ, 家政, 久万高原町立美川中学校)

1 はじめに

15年度1次隊でガーナへ家政隊員として派遣。

2 現地での活動

職業訓練学校の被服科での技術指導。現地で学んだこと。

- ・ 創意工夫
- ・ 技術協力の可能性
- ・ コミュニケーション
- ・ 助け合うこと
- ・ 専門性

3 新任校で

任期を終えて帰国。新任校で私は家庭科ではなく国語を受け持つことになりました。専門でない教科を担当するため、教材研究に追われる日々でした。

4 私たちにできること。

あるとき、校長先生がガーナの人のために何か私たちにできないかだろうかと声をかけてくださいました。相談の結果、現地の方を日本に招待することになりました。日本の企業や学校を見学していただくとともに、生徒と交流ができればと考えました。費用は趣旨に賛同していただいた地元企業の方に寄付していただきました。

5 配属先のニューエブアイセスについて

地域の青少年に職業訓練の機会を与える目的で作られ、被服科、調理科、大工科、石工科、電気科、コンピュータ科がありました。しかし、資金不足のため設備は全く整っておらず、生徒の家庭も貧しく、やめていく生徒も多くいました。

6 エリックさん訪問のねらい

本校生とは全校生徒わずか32名です。素直で優しい生徒が多いのですが、限られた人間関係の中で、多様な思考が育ちにくい面や消極的な面が見られます。そのような生徒たちが視野を広げ、興味をもって取り組む機会にしたいと考えました。

(1) 生徒たちとの交流

- ・ 心のふれ合う交流
- ・ 異文化理解
- ・ コミュニケーションの力

(2) 研修

- ・ 学校運営のヒント
- ・ 日本の技術

表1 エリックさんとの交流内容（本校関係分）

	校内施設見学・給食への参加（3年生）
	ガーナトーク（2年生）
	ガーナ料理（1年生）
	ガーナ集会（全校生徒、教職員、保護者）
	合唱練習見学（アフリカ民謡）

7 交流活動

(1) 活動事例1 海外活動報告会

対象 本校生徒、保護者、教職員 時間 50分

内容 ガーナの概要、協力隊活動、エリックさんを迎えるために

(2) 活動事例2 ガーナトーク（50分）

対象 2年生12名 時間 50分

内容 ガーナやエリックさんについて知ろう。

表2 「ガーナトーク」会話の一部

生徒	エリックさん
・カカオがたくさんありますか？	・はい。日本にもたくさん輸出しています。
・日本で驚いたことは？	・みんなの制服がきれいこと。 学校の設備がガーナの大学と同じくらい。 トイレのウォシュレット、地下鉄
・日本からもって帰りたい物は？	・コンピューター、今の学校には100人の生徒がいて2台しかないから。
・ワールドカップ出場。	・ガーナではサッカーが盛んなのを知っていますか？

生徒の様子

生徒は興味あるようでしたが、なかなか勇気がないようでした。何を聞いたらよいかわからない、英語が間違っていたら恥ずかしいと消極的でした。

テーマを絞るなど展開方法を工夫する必要性がありました。また、事前に質問カードなどに書かせておくとよかったと思います。

(3) 活動事例3 ガーナ料理づくり

対象 1年生8名 時間 50分×3コマ

内容 ガーナ料理（フーフー＆ライトスープ）をエリックさんと一緒に作る。
ガーナ料理の特徴を知る。

フーフー・・・キャッサバや芋をゆで、おもちのようについたもの。ライトスープ・・・トマトやタマネギをすりつぶして魚や肉といっしょに煮込んだスープ。

料理を通して学んだガーナの生活。

- ・ ガーナでは大きなさらにもってみんなで分け合いながら食べる。食事をとても大切にしている。
- ・ ガーナでは子どもころから家事を手伝うのでほとんどの人が基本的なガーナの料理を作ることができる。家族で助け合って生活している。

生徒の感想

どんな味なのか全く予想できなかったけれど、みんなと楽しくできたのでよかったです。味も食べやすかったです。

エリックさんの包丁の使い方がとてもうまかったです。みんなに優しく接してくれました。

(4) 活動事例4 ガーナ集会

対象 全校生徒32名、教職員、保護者 時間 50分

表3 ガーナ集会の内容

1	民族衣装紹介
2	ガーナの国旗
3	ガーナの生活習慣
4	ガーナのびっくり
5	ガーナの音楽・ダンス
6	日本の印象・生徒たちへのメッセージ



写真2 ガーナ集会でダンス披露

生徒へのメッセージ

日本の生徒さんは大変まじめですが、ちょっとおとなしいです。日本の学校はどこに行っても設備が整っていて、教育が重視されていることがわかりました。私は日本でたくさんのことを学びましたし、みなさんもガーナのことをたくさん知ってくれたと思います。そして、これからもガーナと日本の交流が続くことを願っています。

生徒の感想

言葉は違って人を尊敬する気持ち、歌などを楽しむ気持ちは一緒だと思います。

まずいいけれど、支え合って生活しているというのを聞いて、優しい国なんだなと思いました。

本場の言葉も聞けてよかったです。言っている言葉はわからなかったけど、「うれしい」とか「楽しい」という気持ちが伝わったので心が温かくなりました。

今まで全く知らなかった異国の文化に触れることができてすごくうれしかったです。

7 今回の交流の成果と課題

成果

- ・コミュニケーションの大切さを知った。
- ・異文化に触れることができた。
- ・客観的に自分たちを見ることができた。

課題

- ・生徒の状況にあった授業展開の工夫
- ・今回の交流を生かした、今後の教育活動



写真3 エリックさんとお別れ会

8 今後の活動

生徒たちの生き方に響く活動ができればと思います。

- (1) 国語科 異文化やボランティアをテーマにしたディスカッション、作文
- (2) 家庭科 ガーナ料理、民族衣装、生活
- (3) 総合的な学習の時間 異文化体験やボランティア活動の体験談
- (4) 他教科との連携 民族音楽、フェアトレード、ガーナの歴史（奴隷貿易）

9 まとめ

体験は何よりの教材だと思います。また、私たち教師は一年一年が勝負です。どのような状況でもやれること、その時しかできないことがあり、チャンスを逃さずやっていければと思います。また、学校内外を問わず周囲の連携も大切です。そして、日本とガーナの交流がこれからも続くよう、私にできることをやっていきたいと思っています。

派遣経験を生かした教育活動事例報告

愛媛県久万高原町立美川中学校
教諭 渡部 和江
(15 - 1 家政 ガーナ)

任地での活動

職業訓練学校被服科での技術指導

- 創意工夫
- 技術協力の可能性
- コミュニケーション
- 助け合うこと
- 専門性



新任校赴任後 専門外の教科担当への戸惑い

派遣体験を生かせず

校長先生の発案「私たちにできることは？」

ガーナのエリックさんを招聘しよう
(職業訓練学校校長)

ニューエブアイセス職業訓練学校

- 地域の青少年に職業訓練の機会
- 被服科、調理科、大工科、
石工科、電気科、コンピュータ科
- 資金不足



エリックさん招へいのねらい

生徒との交流

- 心のふれ合う交流
- 異文化理解
- コミュニケーションの力



エリックさんとお別れ会

研修

- 学校運営のヒント
- 日本の技術



職業訓練学校縫製コース見学

エリックさん招へい計画

- 11月28日 月 本校(学校内見学)
- 11月29日 火 本校(2年生ガーナトーク)
- 11月30日 水 企業見学
- 12月 1日 木 高等技術専門校見学(縫製・建築)
- 12月 2日 金 響音楽祭参加(日本太鼓・アフリカ民謡)
- 12月 3日 土 子ども会 木材加工見学
- 12月 4日 日 山林見学
- 12月 5日 月
- 12月 6日 火
- 12月 7日 水 本校(1年生ガーナ料理、ガーナ集会、寮宿泊)
- 12月 8日 木 愛媛大学
- 12月 9日 金 愛媛大学
- 12月10日 土 文化交流会 子ども会
- 12月11日 日 中学校訪問
- 12月12日 月 企業見学
- 12月13日 火 小学校見学 文化交流会
- 12月14日 水 本校(買体験) 美術鑑見学
- 12月15日 木 本校(パソコン)
- 12月16日 金 本校(お別れ会) 小学校見学

活動事例1 海外活動報告会

- 対象 全校生徒、保護者、教職員
- 時間 50分
- 内容 ガーナの概要、協力隊活動
- エリックさんを迎える前に



活動事例2 ガーナトーク

- 対象 2年生 12名
- 時間 50分
- 内容 ガーナやエリックさんについて知ろう
- 生徒の様子 興味はもっているが、発言することに消極的。
ガーナ人から見た日本について知った。



会話の一部

- | | |
|-----------------|---|
| 生徒 | エリックさん |
| ・カカオがたくさんありますか？ | ・はい。日本にもたくさん輸出しています。 |
| ・日本で驚いたことは？ | ・みんなの制服がきれいこと、学校の設備がガーナの大学と同じ。ウォシュレット、地下鉄 |
| ・日本から持って帰りたい物は？ | ・コンピューター、学校には2台しかないから。 |
| ・ワールドカップ出場。 | ・ガーナではサッカーが盛んなのを知ってますか？ |

活動事例3 ガーナ料理

- 対象 1年生 8名
- 時間 50分×3コマ
- 内容 ガーナ料理(フーフ&ライトスープ)づくり、試食、ガーナ料理の特徴



フーフー&ライトスープ



ガーナ料理から学んだこと

- キャッサバやヤマ芋が主食。
- 手で食べる。
- 生の物は食べない。
- 1日2食のことが多い。
- 大きな皿にもって分け合って食べ、食事を大切にする。
- ガーナの子どもは家事をよく手伝う。

活動事例4 ガーナ集会

- 対象 全校生徒 保護者 教職員
- 時間 50分
- 内容
 - ・民族衣装
 - ・国旗
 - ・生活習慣
 - ・民族音楽・ダンス
 - ・日本の印象、生徒たちへのメッセージ



右手を使う習慣



エリックさんからのメッセージ

- ・ みなさんは大変まじめですが、ちょっとおとなしいですね。
- ・ 日本の学校はどこに行っても設備が整っていて、教育が重視されていることがわかりました。
- ・ 今回、お互いの国のことが学べましたね。これからも日本とガーナの交流が続くことを願っています。

生徒の感想

- 人を尊敬したり、音楽を楽しんだりする心は一緒だと思う。
- 支え合って生活をしていると聞いて、優しい国なんだなと思った。
- 言葉はわからなくても「うれしい」「楽しい」という気持ちがわかり、心が温かくなった。
- 全く知らなかった異国の文化に触れることができた。

今回の交流の成果と課題

- 成果
 - ・ コミュニケーションの大切さを知った。
 - ・ 異文化に触れることができた。
 - ・ 客観的に自分たちを見ることができた。
- 課題
 - ・ 生徒の状況にあった授業展開の工夫
 - ・ 今回の交流を生かした、今後の教育活動

今後の教育活動

生徒たちの生き方に響く活動をめざして。

- ・ 国語科 異文化やボランティアをテーマにしたディスカッション、作文
- ・ 家庭科 ガーナ料理、民族衣装、生活
- ・ 総合的な学習の時間 異文化体験やボランティア活動の体験談
- ・ 他教科との連携 民族音楽、フェアトレード、ガーナの歴史

まとめ

- 教育活動のアイデア。
- 私たちにできることは？



エリックさんを囲んで全員で記念撮影

派遣経験を生かした教育活動事例報告

久万高原町立美川中学校 教諭 渡部 和江

1 はじめに

15年度1次隊でガーナへ家政隊員として派遣。職業訓練学校の被服科での技術指導。

2 新任校で

新しい生活に戸惑い。教材研究に追われる日々。

3 私たちにできること

ガーナの校長先生を招聘することに。

4 配属先のニューエブアイセスについて

地域の青少年に職業訓練の機会を与える目的で作られた。厳しい運営状態。

5 エリックさん招聘のねらい

(1) 生徒たちとの交流

(2) 企業や職業訓練学校見学による研修

6 交流活動

エリックさんとの交流内容（本校関係分）	
	校内施設見学・給食への参加（3年生）
	ガーナトーク（2年生）
	ガーナ料理（1年生）
	ガーナ集会（全校生徒、教職員、保護者）
	合唱練習参加（アフリカ民謡）

7 今後の活動

生徒たちの生き方に響く活動ができれば。

(1) 国語科 異文化やボランティアをテーマにしたディスカッション、作文

(2) 家庭科 ガーナ料理、民族衣装、生活

(3) 総合的な学習の時間 異文化体験やボランティア活動の体験談

(4) 他教科との連携 民族音楽、フェアトレード、ガーナの歴史（奴隷貿易）

8 まとめ

体験は何よりの教材。日本とガーナの交流を今後も続けたい。